調達要求番号：

<table>
<tr><td colspan="4">陸　上　自　衛　隊　仕　様　書</td></tr>
<tr><td>物品番号</td><td>７３３０－１６２－３７７８－５</td><td colspan="2">仕　　様　　書　　番　　号</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="5">保温配食缶，副食用</td><td colspan="2">ＧＱ－Ｋ０００３５Ｊ</td></tr>
<tr><td>防衛大臣承認</td><td>年　月　日</td></tr>
<tr><td>作　　　成</td><td>平成　８年　４月２４日</td></tr>
<tr><td>変　　　更</td><td>平成２２年　８月１７日</td></tr>
<tr><td>作成部隊等名</td><td>補給統制本部　需品部</td></tr>
</table>

1　総則

1.1　適用範囲

この仕様書は，陸上自衛隊が野外において使用する保温配食缶，副食用（以下，“配食缶”という。）について規定する。

1.2　製品の呼び方

製品の呼び方は，仕様書の名称による。

1.3　引用文書

この仕様書に引用する次の文書は，この仕様書に規定する範囲内において，この仕様書の一部を成すものであり，入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

a)　規格

ＪＩＳ Ｂ １１６３	四角ナット
ＪＩＳ Ｂ １２５１	ばね座金
ＪＩＳ Ｃ １６０２	熱電対
ＪＩＳ Ｇ ３４４７	ステンレス鋼サニタリー管
ＪＩＳ Ｇ ３５３２	鉄線
ＪＩＳ Ｇ ４３０５	冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯
ＪＩＳ Ｇ ４３１３	ばね用ステンレス鋼帯
ＪＩＳ Ｇ ４３１５	冷間圧造用ステンレス鋼線
ＪＩＳ Ｋ ６９２１－１	プラスチック－ポリプロピレン（ＰＰ）成形用及び押出用材料－第１部：呼び方のシステム及び仕様表記の基礎
ＪＩＳ Ｋ ６９２２－１	プラスチック－ポリエチレン（ＰＥ）成形用及び押出用材料－第１部：呼び方のシステム及び仕様表記の基礎
ＪＩＳ Ｌ ０８４２	紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法
ＪＩＳ Ｌ ０８４４	洗濯に対する染色堅ろう度試験方法
ＪＩＳ Ｌ １０３０－２	繊維製品の混用率試験方法－第２部：繊維混用率
ＪＩＳ Ｌ １０９６	織物及び編物の生地試験方法
ＮＤＳ Ｚ ０００１	包装の総則
ＮＤＳ Ｚ ８２０１	標準色

1.4　附属書

附属書Ａ　配食缶の保温性能試験方法

2　製品に関する要求

2.1　構成

構成は，**表1**による。

表1－構成

品　名		数量[a]	注　記
保温配食缶，副食用		1	**図1**による。
副食用仕切板		1	**図3**による。
副食用中ふた		1	**図3**による。
肩ひも		1	**図4**による。
肩ひも用金具		4	**図4**による。
副食用内容器		2	市販品，保温配食缶,副食用に収納可能なもの。160 mm×307 mm×70 mm程度,プラスチック製
附属品	取扱説明書	1	―――――――――
予備品	取っ手取付ねじ	1	**図1**による。
	取付ねじ	2	**図1**による。
注[a]　規定の数量と異なる場合は，調達要領指定書によって指定する。			

2.2　材料・部品

材料及び部品は，**表2**及び**図1**～**図4**によるほか，配食缶内部の各材料は，食品衛生上無害のものとする。

表2－テープ

項　目		規　定	試　験　方　法
材質		ナイロン	ＪＩＳ Ｌ １０３０－２による。
組織		杉織一つ山	ＪＩＳ Ｌ １０９６による。
色		ライトグリーン	
厚さ×幅　mm		1.4～1.6×50	
見掛繊度　dtex　／より合わせ数		840～990/2	
密度（標準）	たて糸　本／幅	165～190	
	よこ糸 本／2.5 cm	18～30	
質量　g/m		58以下	
引張強さ　KN		13以上	ＪＩＳ Ｌ １０９６の準用による。
染色堅ろう度　級	洗濯	4以上	ＪＩＳ Ｌ ０８４４　Ａ－２法による。
	耐光	4以上	ＪＩＳ Ｌ ０８４２による。

2.3　加工

加工は，次によるほか，**図1**～**図5**による。

a)　本体は，高密度ポリエチレンをブロー成形によって成形した外側部分の塗色は，ＮＤＳ Ｚ ８２０１の色番号2314（ＯＤ色7.5Y3/1）とし，内側部分（アイボリー色）を熱溶着によって接着する。じ後中空部分に発泡ポリウレタンを封入し，封入口を熱溶着によって封ずることで作成するものとし,接着部については隙間及び溶着むらがなく,表面は滑らかであるものとする。ただし,ふたの部分の塗色は，内側・外側共ＮＤＳ Ｚ ８２０１の色番号2314(ＯＤ色7.5Y3/1)とする。

b)　配食缶の仕切板及び中ふたは，ポリプロピレン（アイボリー色）のブロー成形品とする。

c)　a)及びb)の各成形材料には，抗菌剤及び帯電防止剤を混練するものとする。

2.4　塗装

配食缶の金属部の塗装は，アクリル・ウレタン系の塗料を使用し，焼付け塗装を施すものとする。

2.5　構造

構造は，次によるほか，**図**1～**図**5による。

a)　本体ふた部の内側にシリコン樹脂のパッキンを脱落しにくいよう適切に取り付け，クリップ金具を締結することによって内容物の漏れがなくなり，高い保温性を保つことができる構造とする。

b)　本体ふた部は，本体から着脱可能な構造とし，開口時，刻印表示面に正対した際，右方向に取り外しできるものとする。

c)　肩ひもを取り付けることにより，肩掛けができる構造とする。

2.6　形状・寸法

形状及び寸法は，**図**1～**図**5によるほか，同一形状の配食缶の本体とふたは互換性があるものとする。

2.7　外観

外観は，次による。

a)　本体のプラスチック部は，保温性，内容物の漏れ並びに衛生上の問題に起因するような割れ及びきずがなく，仕上げの程度は良好であるものとする。

b)　金属部は，ばり及び塗装むらのないものとする。

2.8　性能

性能は，次による。

a)　**保温性能**　配食缶の保温性能は，3時間で温度降下が15 ℃以内とする。ただし，試験方法は，**附属書Ａ**による。

b)　**耐衝撃性能**　配食缶の耐衝撃性能は，配食缶に10 Lの水を入れて1.5 mから落下させ著しい破損及び水漏れがないものとする。

2.9　製品の表示

製品の表示は，ふた上部中央に**図**5に示す刻印表示を行うものとする。

3　品質保証

3.1　検査

検査は，**表**3によるほか，契約担当官等が定める検査実施要領によるものとし，2.3c)については，書類審査によるものとする。

表3－検査

項　　　目	試　験　方　法		判　定　基　準
形状・寸法	目視・実測による。		2.6による。
外観	目視による。		2.7による。
性能	保温性能	**附属書Ａ**による。	2.8による。
	耐衝撃性能	――――――	

4　出荷条件

4.1　包装

包装は，特に調達要領指定書によって指定する場合を除き，商慣習による。

4.2　外装の表示

外装の表示は，ＮＤＳ　Ｚ　０００１の表示･標識によるものとし，表示項目は，次のとおりとする。

a)

b)　物品番号

c)　品名（製品の呼び方）

d)　数量

e)　質量

f)　容積

g)　納入年月

　　例　２０１１年１２月

h)　契約の相手方の名称又はその略称

5　その他の指示

5.1　収納要領

配食缶には，副食用仕切板・副食用中ふた及び副食用内容器を収納するものとする。

5.2　承認用見本

契約の相手方は，製作に先立ち承認用見本及び承認用図面を契約担当官等に提出し，外観及び形状等について，承認を受けるものとする。

附属書Ａ
（規定）
配食缶の保温性能試験方法

A.1　適用範囲

この附属書は，配食缶の保温性能試験方法について規定する。

A.2　試験方法の概要

温水を入れた配食缶を低温恒温装置内に放置し，降下温度を測定する。

A.3　装置

A.3.1　低温恒温装置

－20 ℃±1 ℃の雰囲気を維持でき，配食缶を入れる十分な大きさを持つ装置を用いる。

A.3.2　温度計測装置

ＪＩＳ　Ｃ　１６０２に規定する熱電対を用いる。

A.4　試料

A.4.1　試料の準備

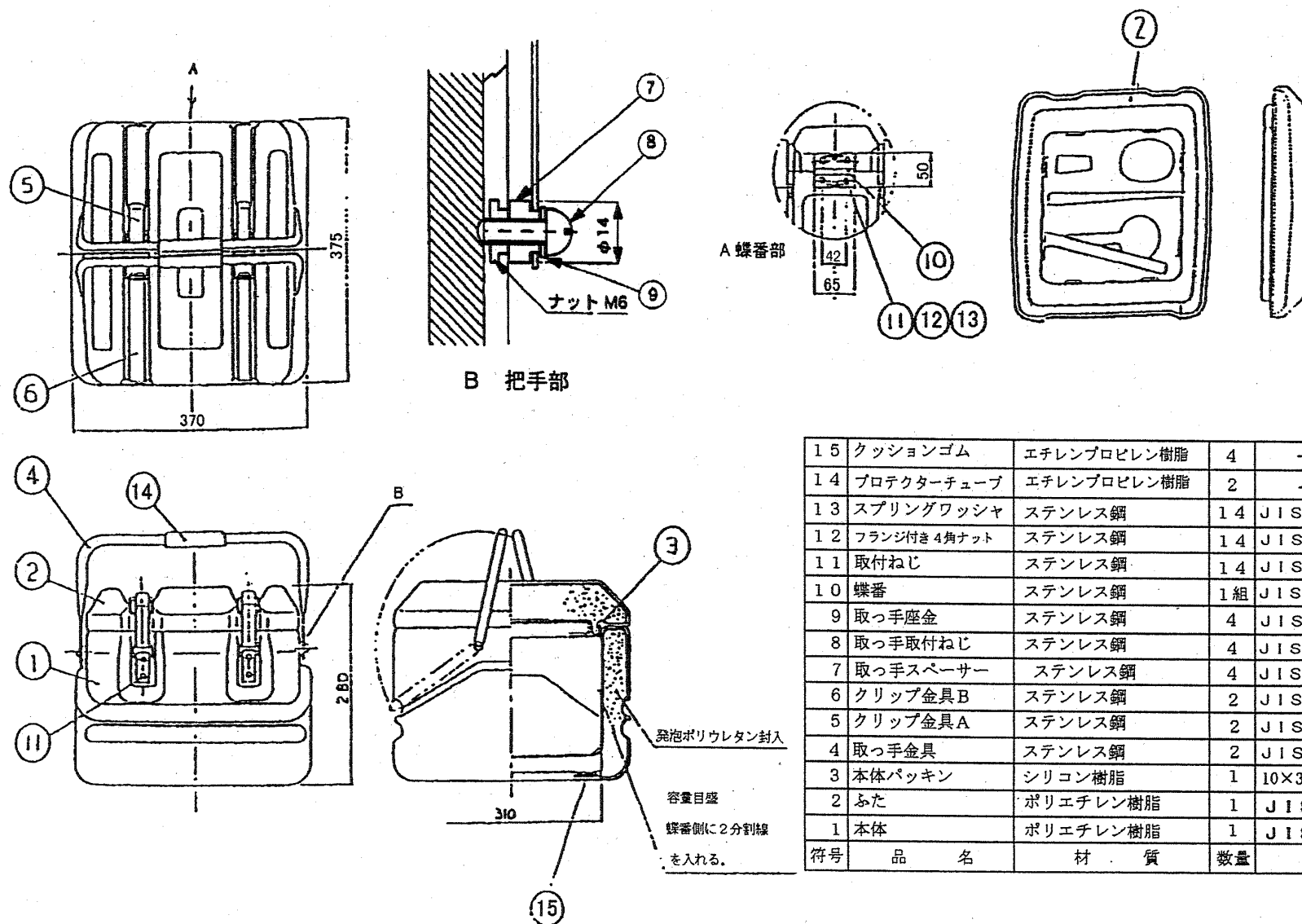
配食缶を 1 個準備する。

A.4.2　試料の調整

配食缶に 80 ℃±5 ℃の温湯 7.5 Ｌを封入し，**A.3.2** の熱電対を温湯の中央に来るように設置する。

A.5　試験方法

A.4 で準備した試料を，－20 ℃±1 ℃の雰囲気を維持するように調整した低温恒温装置に入れ，温度降下を測定する。この際，低温恒温装置の中心に試料が来るように設置する。

単位 mm

符号	品名	材質	数量	規格又は記号
15	クッションゴム	エチレンプロピレン樹脂	4	―
14	プロテクターチューブ	エチレンプロピレン樹脂	2	―
13	スプリングワッシャ	ステンレス鋼	14	JIS B 1251 M5
12	フランジ付き4角ナット	ステンレス鋼	14	JIS B 1163 M5
11	取付ねじ	ステンレス鋼	14	JIS G 4315 M5×10
10	蝶番	ステンレス鋼	1組	JIS G 4305 SUS304
9	取っ手座金	ステンレス鋼	4	JIS G 4305 φ6
8	取っ手取付ねじ	ステンレス鋼	4	JIS G 4315 M6×16
7	取っ手スペーサー	ステンレス鋼	4	JIS G 4305 SUS304
6	クリップ金具B	ステンレス鋼	2	JIS G 4313 SUSCSP
5	クリップ金具A	ステンレス鋼	2	JIS G 4305 SUS304
4	取っ手金具	ステンレス鋼	2	JIS G 3447 SUS304
3	本体パッキン	シリコン樹脂	1	10×324(線径×内径)
2	ふた	ポリエチレン樹脂	1	JIS K 6922-1
1	本体	ポリエチレン樹脂	1	JIS K 6922-1

注記　寸法は標準を示す。

図1－保温配食缶，副食用

単位 mm

171

190

⑥

⑤

SUS-CSP

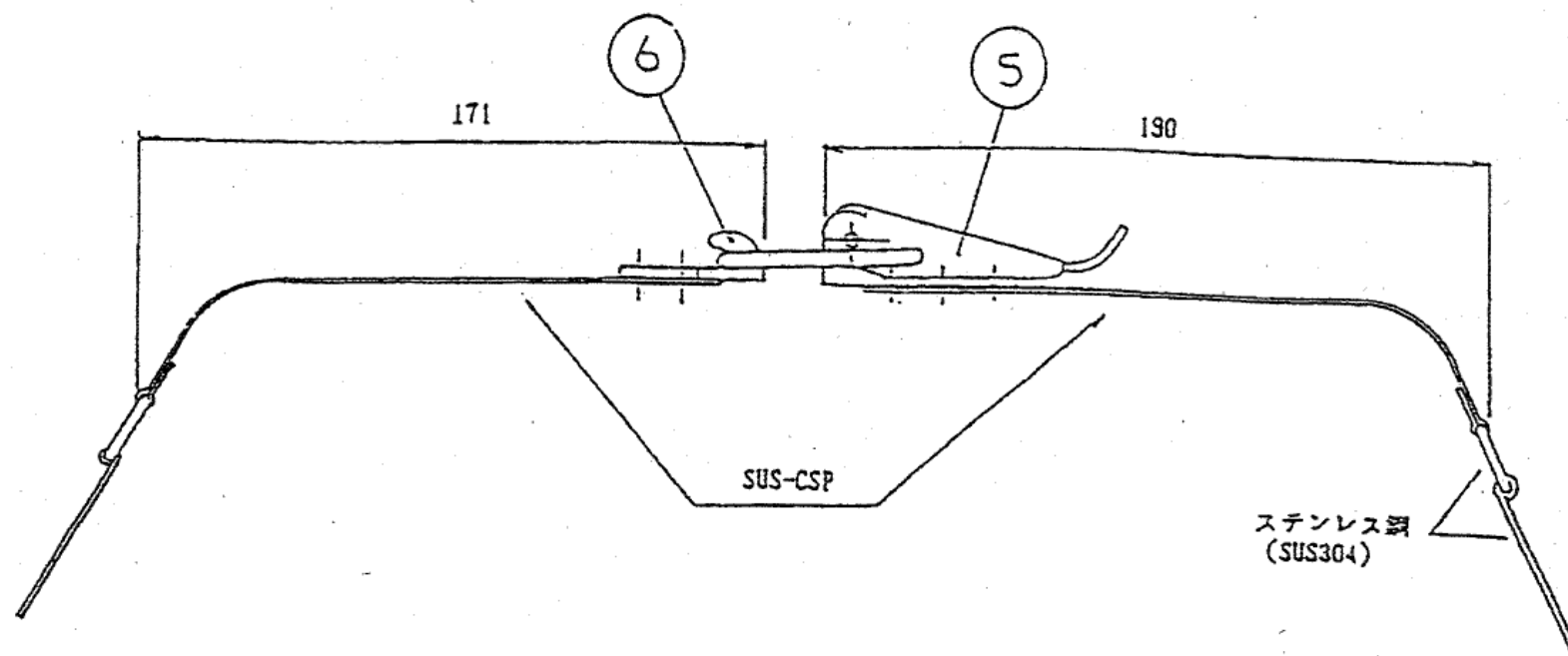
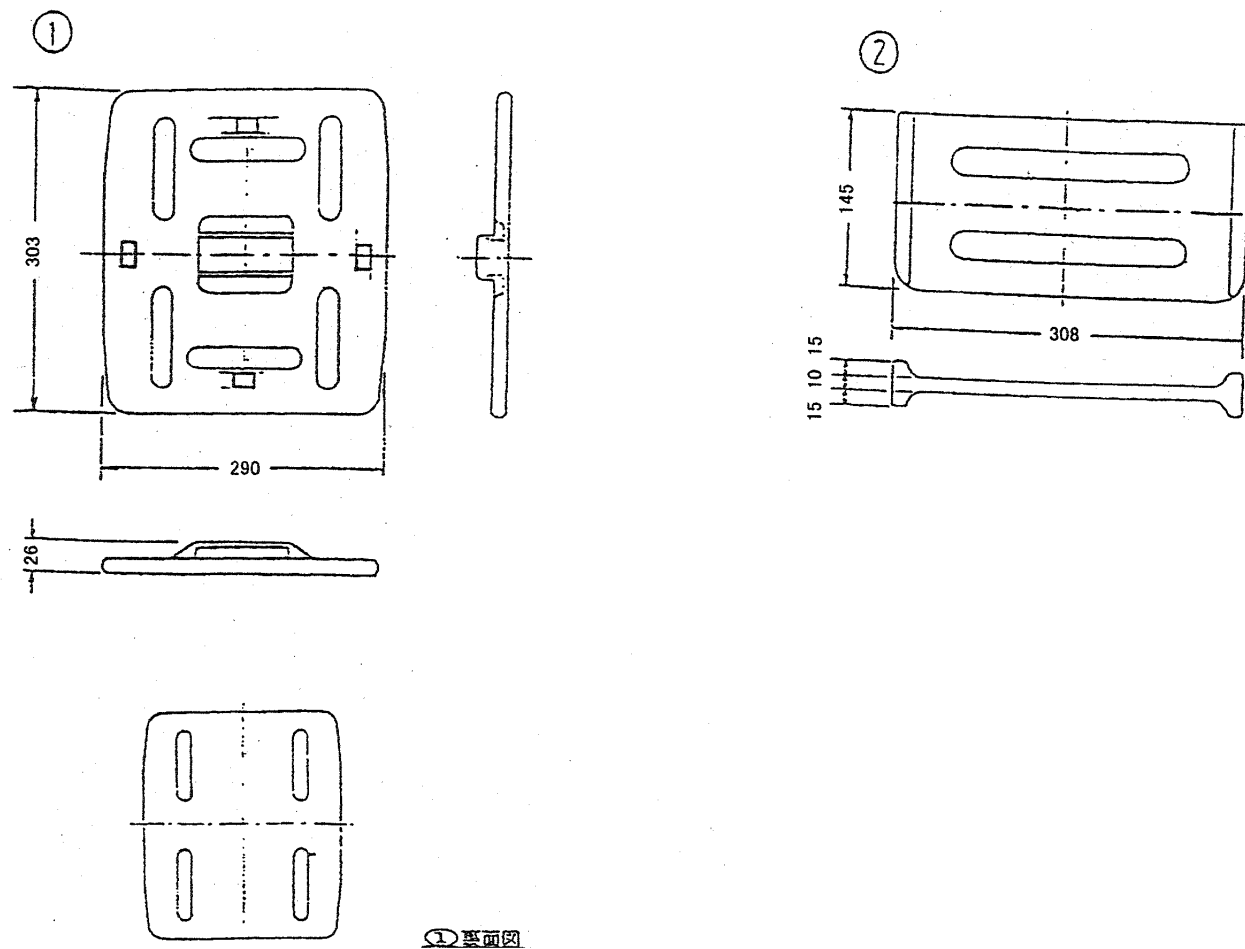
ステンレス鋼
(SUS304)

注記　寸法は標準を示す。

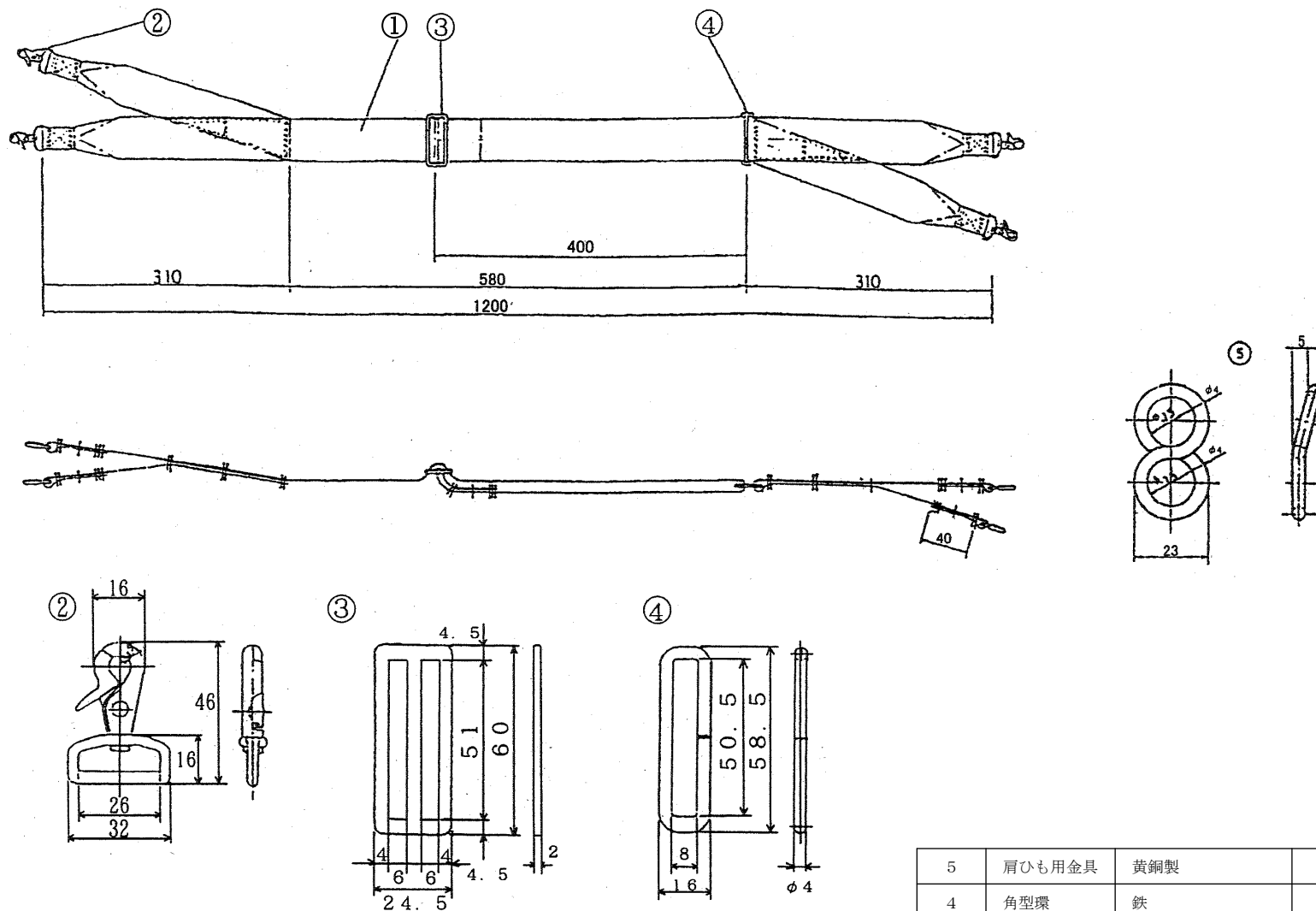
図2－保温配食缶，副食用（クリップ金具詳細）

単位 mm

①裏面図

2	中仕切り	ポリプロピレン樹脂	1	JIS K 6921-1
1	中ふた	ポリプロピレン樹脂	1	JIS K 6921-1
符号	品名	材質	数量	規格又は記号

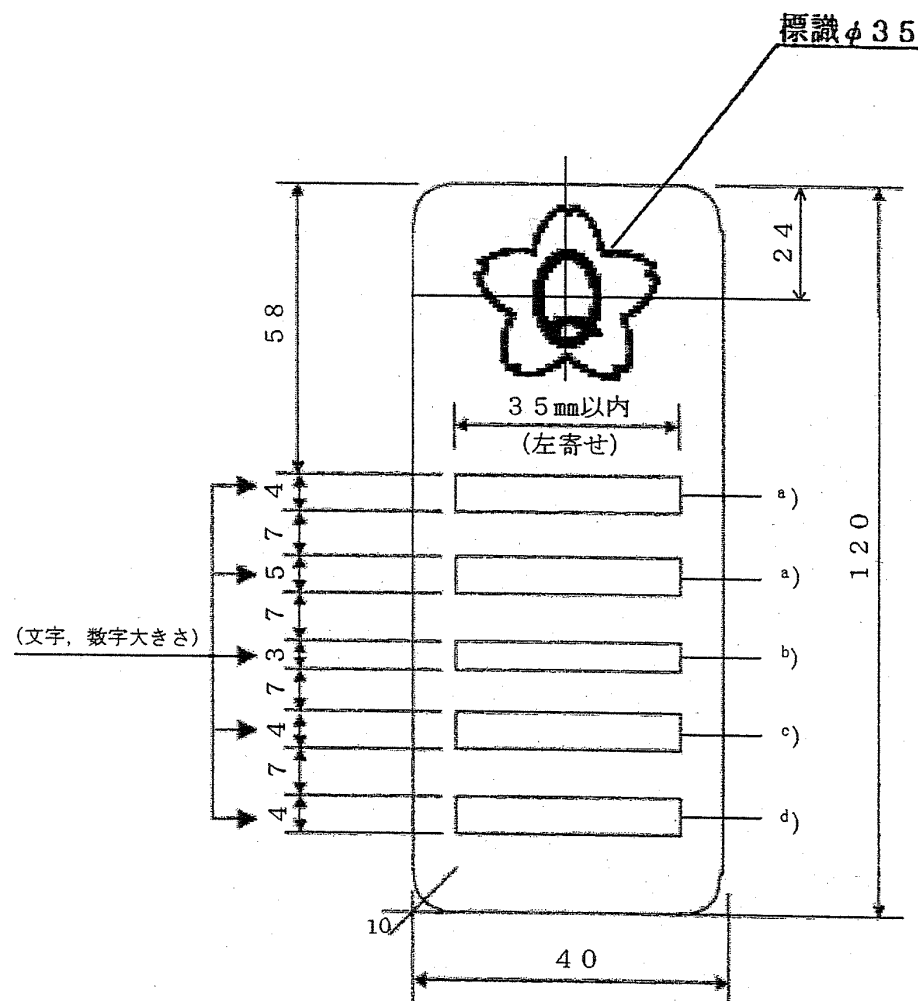
注記　寸法は標準を示す。

図3－副食用仕切板及び中ふた

単位 mm

5	肩ひも用金具	黄銅製	4	黒ニッケルメッキ
4	角型環	鉄	1	JIS G 3532 50mm用
3	一本コキ尾錠	黄銅製	1	黒ニッケルメッキ50mm用
2	なす環	リン青銅ばね入り	4	黒ニッケルメッキ25mm用
1	テープ	ナイロン	1	表２による。
符号	品名	材質	数量	規格又は記号

注記　寸法は標準を示す。

図4－肩ひも及び肩ひも用金具

単位 ㎜

注 a)　品名を刻印する。
注 b)　次の物品番号を刻印する。

品　　名	物　品　番　号
保温配食缶，副食用	７３３０－１６２－３７７８－５

注 c)　納入年月を刻印する。
　　例　２０１１年１２月
注 d)　契約の相手方の名称又はその略称を刻印する。

注記　寸法は標準を示す。

図5－刻印表示